

平成 29 年度  
島根県学力調査  
結果概要

島根県教育委員会

## I. 実施概要

### 1 目 的

学習指導要領における各教科の目標や内容に照らした学習の実現状況及び学習や生活に関する意識や実態を客観的に把握するとともに、全国学力・学習状況調査（以下「全国調査」という。）等で明らかになった学習指導上の課題の改善状況を検証し、今後の教育施策の充実と学校における指導の一層の改善に資する。

### 2 実施日

平成 29 年 12 月 12 日(火)・13 日(水)

### 3 実施校数

公立小学校（県立特別支援学校小学部を含む） 205 校

公立中学校（県立特別支援学校中学部を含む） 102 校

（国立小・中学校及び私立中学校は不参加）

### 4 実施学年・教科・人数

|     |        |      | 教科に関する調査 |       |          |       |       | 意識調査  | 県全体の<br>在籍者数<br>(H29.5.1 現在) |
|-----|--------|------|----------|-------|----------|-------|-------|-------|------------------------------|
|     |        |      | 国語       | 社会    | 算数<br>数学 | 理科    | 英語    |       |                              |
| 小学校 | 第 3 学年 | 実施人数 | 2,274    |       | 2,274    |       |       | 1,893 | 5,544                        |
|     |        | 割合   | 41.0%    |       | 41.0%    |       |       | 34.1% |                              |
|     | 第 4 学年 | 実施人数 | 2,365    |       | 2,365    |       |       | 1,988 | 5,732                        |
|     |        | 割合   | 41.3%    |       | 41.3%    |       |       | 34.7% |                              |
|     | 第 5 学年 | 実施人数 | 5,695    | 3,668 | 5,696    | 3,613 |       | 3,675 | 5,834                        |
|     |        | 割合   | 97.6%    | 62.9% | 97.6%    | 61.9% |       | 63.0% |                              |
|     | 第 6 学年 | 実施人数 | 3,960    | 1,970 | 3,957    | 1,919 |       | 1,973 | 5,483                        |
|     |        | 割合   | 72.2%    | 35.9% | 72.2%    | 35.0% |       | 36.0% |                              |
| 中学校 | 第 1 学年 | 実施人数 | 2,328    | 2,036 | 2,327    | 2,033 | 2,324 | 1,933 | 5,619                        |
|     |        | 割合   | 41.4%    | 36.2% | 41.4%    | 36.2% | 41.4% | 34.4% |                              |
|     | 第 2 学年 | 実施人数 | 5,414    | 3,634 | 5,411    | 3,633 | 3,958 | 3,568 | 5,657                        |
|     |        | 割合   | 95.7%    | 64.2% | 95.7%    | 64.2% | 70.0% | 63.1% |                              |

#### ※調査に不参加の市町村

小学校第 3 学年 国語（松江市・出雲市）、算数（松江市・出雲市）、意識調査（松江市・出雲市・益田市）

小学校第 4 学年 国語（松江市・出雲市）、算数（松江市・出雲市）、意識調査（松江市・出雲市・益田市）

小学校第 5 学年 社会（出雲市・雲南市）、理科（出雲市・雲南市）、意識調査（出雲市・益田市）

小学校第 6 学年 国語（出雲市）、社会（松江市・出雲市・雲南市）、算数（出雲市）

理科（松江市・出雲市・雲南市）、意識調査（松江市・出雲市・益田市）

中学校第 1 学年 国語（松江市・出雲市）、社会（松江市・出雲市・雲南市）、数学（松江市・出雲市）

理科（松江市・出雲市・雲南市）、英語（松江市・出雲市）、意識調査（松江市・出雲市・益田市）

中学校第 2 学年 社会（出雲市・雲南市）、理科（出雲市・雲南市）、英語（出雲市）、意識調査（出雲市・益田市）

## 5 県調査の考え方・特徴

(1) 全国調査と県調査をつなげたPDCAサイクルの構築を推奨している。

- ① 全国調査で明らかになった課題を改善するための指導の取組を、島根県学力調査（以下「県調査」という。）で検証するというPDCAサイクルを確立し、指導の改善を効果的に進める。
- ② 今年度の指導の状況について客観的に評価し、個別指導を充実することにより、年度内に身に付けるべき力を着実に身に付けられるようにする。

(2) 教科に関する調査

以前は委託業者の標準問題を使用していたが、平成 27 年度の調査より島根県独自のオリジナル問題を作成。全国調査等で明らかとなった課題の改善状況を検証することをねらいとしている。

(3) 生活・学習に関する意識調査

全国調査結果を踏まえた取組の検証という観点から、全国調査の質問項目と同じ項目を設定。

(4) 課題をとらえやすい帳票と分析ツールの提供

各学校が自校の課題をとらえやすいように帳票の表示を工夫するとともに、学力と意識のクロス分析や結果チャートが簡単に作成できるような分析ツールを提供。

(5) 子どもたちの事後学習を促すための個人帳票の提供

結果を記載した「個人成績表」に加え、事後学習に活用できる「フォローアッププリント」を提供。

## 6 用語

- 「正答率」 各学年・教科において、児童生徒個人が正答した問題の割合（％）の県平均。
- 「観 点」 指導や評価のために、児童生徒が身に付けた力を分析的に捉える視点。「関心・意欲・態度」「思考・判断・表現」「技能」「知識・理解」の4つ。
- 「領 域」 各教科の学習内容を系統的に示したもの。算数であれば「数と計算」「図形」など。

## 7 公表する調査結果（教育指導課ホームページにも掲載）

(1) 平成 29 年度島根県学力調査 結果概要

I. 実施概要

II. 全国調査でみられた主な課題の改善状況

III. 教科に関する調査と生活・学習に関する意識調査のクロス分析結果

IV. 今後の対応

(2) 平成 29 年度島根県学力調査 教科別調査結果概要（資料 1）

(3) 平成 29 年度島根県学力調査 生活・学習に関する意識調査結果概要（資料 2）

(4) 平成 29 年度島根県学力調査 資料編

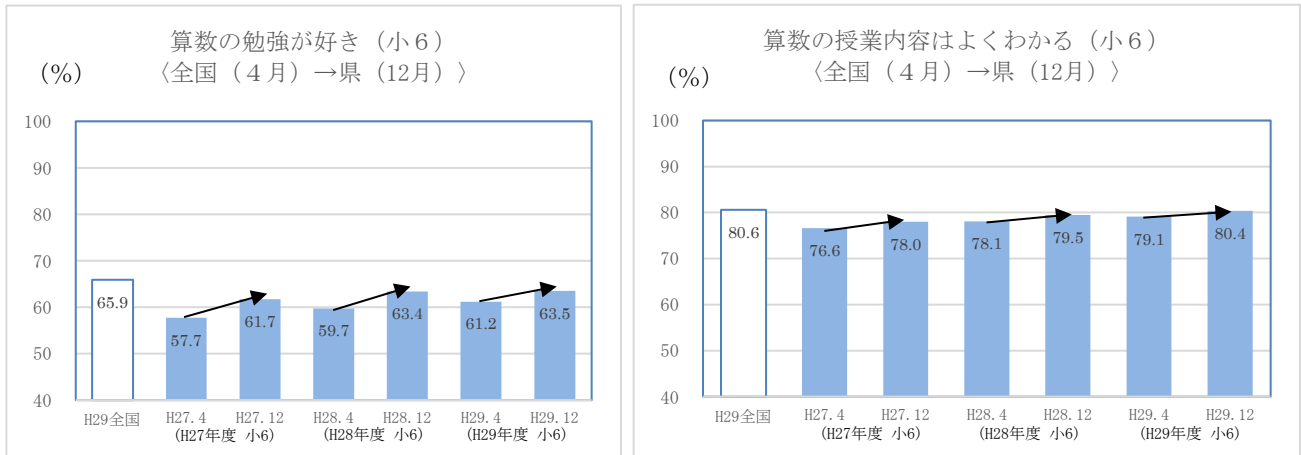
① 教科に関する設問別調査結果一覧（資料 3）

② 生活・学習に関する意識調査結果一覧（資料 4）

## Ⅱ．全国調査でみられた主な課題の改善状況

### 1 改善がみられた事項の例

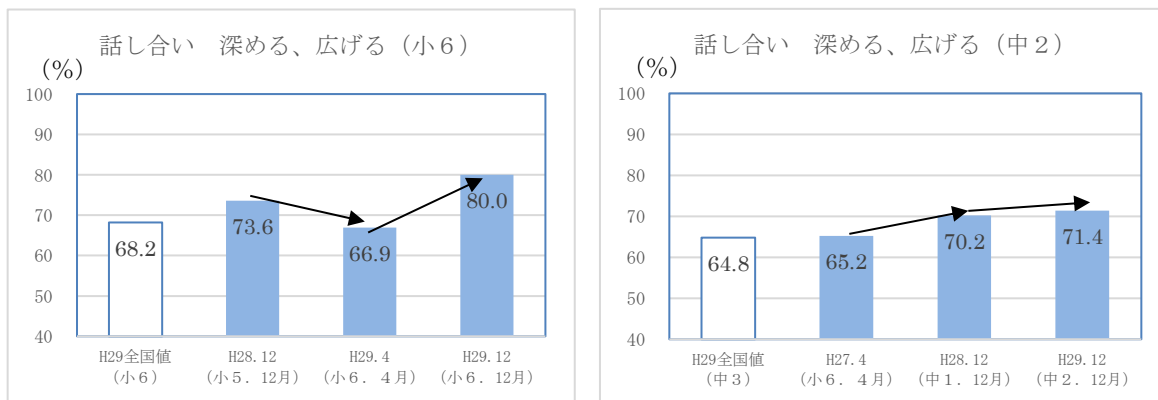
- 「算数の勉強が好きだ」「算数の授業の内容はよくわかる」という調査項目に肯定的回答をした子どもの割合



小6の「算数の勉強が好き」の肯定的な回答率が63.5%であり、4月の全国調査時より2.3ポイント上昇し、全国値との差が2.4ポイント差に縮まっている。「算数の授業内容はよくわかる」の肯定的な回答率が80.4%でほぼ全国値並である。

過去3年のデータをみると、4月の全国調査時と比較して12月の県調査時に肯定的な回答率が、毎年上昇している。また、平成27年から平成29年度にかけて「算数の勉強が好き」「算数の授業内容はよくわかる」ともに肯定的な回答率が上昇している。

- 「児童生徒の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思う」という調査項目に肯定的回答をした子どもの割合



「児童生徒の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思う」について肯定的な回答率が、上昇してきている。

## ○ 言語に関する知識・理解・技能

漢字の読み書きなど、基礎的・基本的な言語に関する知識・理解・技能は定着してきている。

(小学校)

全学年で漢字の読み書きの習得は全国学力調査同様、定着している。

全学年 1 ー 2 小 3 読む：正答率 73.0%「行う」 書く：正答率 85.2%「本をうる」  
小 4 読む：正答率 93.4%「胃腸」 書く：正答率 74.0%「けんきゅう」  
小 5 読む：正答率 76.4%「額」 書く：正答率 87.4%「みらい」  
小 6 読む：正答率 91.7%「組織」 書く：正答率 90.9%「ささえる」

(中学校)

漢字の読み書きについては概ね定着している。

中 1 読む：正答率 83.5%「鮮やか」 書く：正答率 84.5%「ナラんで歩く」  
中 2 読む：正答率 78.9%「近隣」 書く：正答率 83.6%「スガタを映す」

## ○ 数量関係

H29 全国調査 B 5 (2)「与えられた情報から基準量、比較量、割合の関係をとらえ、「最大の満月の直径」に近い硬貨を選び、選んだわけを書く」問題の全国正答率 13.2%のところ、県正答率は 8.6%、無解答率は 11.8%であった。今回の県調査はその類似の問題であり、今回も正答率は決して高くはないが、正答率、無解答率ともに改善の傾向がみられる。

[小 6・14(2)]

小 6 の「基準量と割合を基に比較量に近いものを判断し、その理由を記述する」問題について、改善がみられる。

<問題>

- ・ピザの M サイズを 1 円玉の直径としてみたときに、M サイズより 30% 大きい L サイズのピザの直径に近い硬貨を選び、その理由を記述する。

[小 6・14(2) 正答率 23.6% 無解答率 6.2%]

【正答例】

L サイズのピザの直径は  $20 \times 1.3 = 26$  で 26mm である。100 円玉の直径との差は  $26 - 22.6$  で 3.4mm である。500 円玉の直径との差は  $26.5 - 26$  で 0.5mm である。500 円玉の直径との差のほうが小さいので、500 円玉のほうが近い。

(2) えみさんは、3 種類のこう貨の図を見て、次のように言いました。



3 種類のこう貨の図を見ていたら、ピザの M サイズ・L サイズを思い出しちゃったわ。

M サイズ



L サイズ



この前ピザを注文したとき、お店の人に聞いたら、そのお店のピザの L サイズの直径は、M サイズの直径より、約 30% 長いんだって。

「M サイズのピザの直径」を 1 円玉の直径としたときに、「M サイズのピザの直径」をもとにして 30% 長くなっている「L サイズのピザの直径」は、100 円玉と 500 円玉のどちらの直径に近いですか。

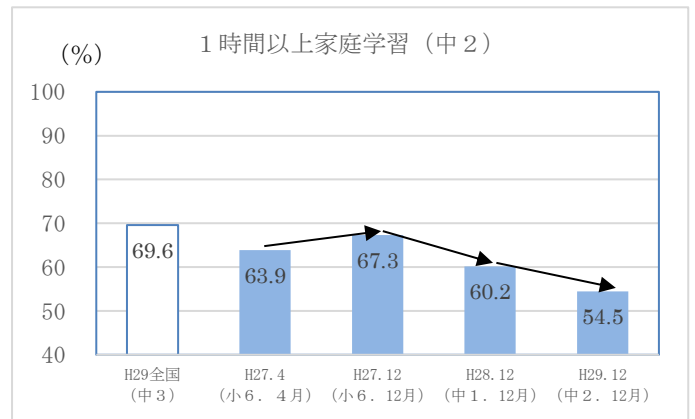
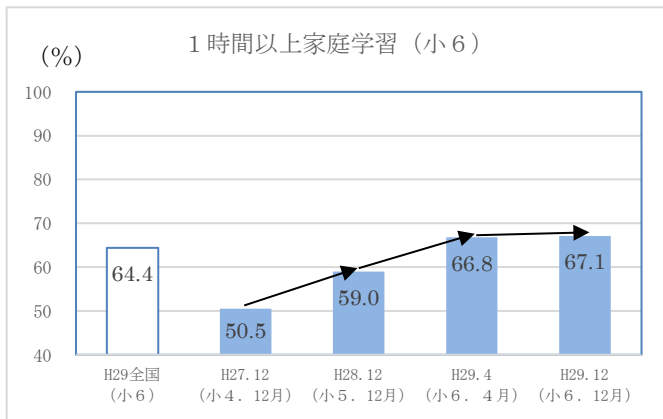
下の 1 と 2 から選んで、その番号を書きましょう。

また、選んだこう貨のほうが「L サイズのピザの直径」に近いと考えたわけを、言葉や式を使って書きましょう。

- 1 100 円玉
- 2 500 円玉

## 2 引き続き改善が必要な事項の例

### ○ 学校の授業時間以外に普段（月～金）勉強する時間が、1日当たり1時間以上の割合



小6については、1時間以上学習する児童の割合が全国調査時に比べて0.3ポイント上昇し全国に比べても高くなっている。

中2については、1時間以上学習する生徒の割合は、同一集団を追いかけると小6の12月、中1の12月、中2の12月と徐々に下がっている。

（※ 現在の中3について、昨年度12月調査では51.4%、今年度4月全国調査時は59.6%）

### ○ 小数の乗法、除法の意味理解

小5、小6の「小数の乗法について意味を理解している」問題について改善がみられる。しかし、特に割合が1より小さい場合について、引き算、わり算で計算する児童が多く、課題が残る。

・割合が1より大きい場合、比較量の求め方が（基準量）×（割合）になることを理解している。

H29 [小5・13(1)] 正答率 66.5%

[小6・10(1)] 正答率 84.3%

H28 [小5・12(1)] 正答率 68.9%

[小6・8(1)] 正答率 74.1%

・割合が1より小さい場合でも、比較量の求め方が（基準量）×（割合）になることを理解している。

【正答】3「 $150 \times 0.8$ 」

【正答率並びに引き算、わり算で計算した児童の割合】

[小5・13(1)]

13 次の図のように、①のリボンの長さをもとにして、②のリボンと③のリボンの長さを表しました。

(1) ②のリボンの長さを求める式を、次の1から4までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。

- 1  $150 + 0.4$
- 2  $150 - 0.4$
- 3  $150 \times 1.4$
- 4  $150 \div 1.4$

(2) ③のリボンの長さを求める式を、次の1から4までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。

- 1  $150 + 0.2$
- 2  $150 - 0.2$
- 3  $150 \times 0.8$
- 4  $150 \div 0.8$

|        | H26 全国 |
|--------|--------|
| 正答     | 49.2%  |
| 引き算で計算 | 18.5%  |
| わり算で計算 | 29.9%  |

| H27 小5 | H28 小6 |
|--------|--------|
| 31.4%  | 50.7%  |
| 23.2%  | 19.7%  |
| 41.8%  | 27.7%  |

| H28 小5 | H29 小6 |
|--------|--------|
| 35.9%  | 57.2%  |
| 21.0%  | 14.1%  |
| 39.8%  | 27.1%  |

| H29 小5 |
|--------|
| 35.5%  |
| 20.9%  |
| 38.8%  |

※「H26 全国」は、H26 全国調査A2(2)における島根県の結果を表す。

※小6は、5年生時と比較し正答率は高くなっているが、5年生時における正答率は例年並みである。

※「わり算で計算した児童の割合」が依然として改善されていない。

## ○ 書く力（国語）

書くことの記述式問題の無解答率は全学年 12.4%以下（H27 年度 18.5%以下、H28 年度 21.5%以下）であり、記述することへの抵抗感は減少していると思われるが、小学校では「書こうとすることの中心を明確にして書くこと」や「引用したり、図表やグラフなどを用いたりして自分の考えが伝わるように書くこと」など目的や条件に応じて書くことに引き続き課題がある。

[小3・3二]

【解答例】カブトムシはじゅえきを口にし  
みこませてなめるので、ブラシのような口  
の形をしています。（42字）

| 【レポート】                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        | 【組み立てメモ】                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>いろいろな虫の口と食べ方</p> <p>3年2組 山中ゆみ</p> <p>1. 調べた理由<br/>チョウが花のみつをすうようすを見ていたら、ストローのような口の形をしていました。ほかの虫はどんな口の形をして、どのような食べ方をしているのか気になりました。</p> <p>2. <u>ア</u><br/>学校の図書館にある「こん虫図かん」で調べ、じっさいに虫めがねでかんさつしてみました。</p> <p>3. 調べて分かったこと<br/>○カマキリはつかまえた虫を口でかみくだくので、あごが大きい、かみやすい口の形をしています。<br/><u>イ</u></p> <p>～（内ようがつづく）～</p> <p>4. まとめ<br/>今回調べた虫は、口の形と食べ方がチョウとはちがっていました。虫の口は、それぞれの食べ方に合った形をしていて、いろいろあることが分かりました。</p> <p>《調べるときに使った本》<br/>『こん虫図かん』（○○書店） ・『チョウ』（○○社）<br/>『かぶと虫』（○○社） ・『カマキリのふしぎ』（○○書店）</p> | <p>調べること「虫の口について」</p> <p>1. 調べた理由<br/>ちょうは、ストローのような口を使って、花のみつをすっていた。<br/>《ごもん》ほかの虫は、どのような口か？</p> <p>2. <u>ア</u><br/>・学校の図書館「こん虫図かん」、虫めがねでかんさつ</p> <p>3. 調べて分かったこと<br/>・カマキリ…《食べ物》つかまえた虫《食べ方》口でかみくだく<br/>《口》あごが大きい、かみやすい口の形<br/>・カブトムシ…《食べ物》じゅえき<br/>《食べ方》口にしみこませてなめる<br/>《口》ブラシのような口の形<br/>～（文章がつづく）～</p> <p>③ 山中さんのクラスでは、生き物の体のつくりを調べて、はこうくする文章（レポート）にまとめることにしました。山中さんはこん虫について調べ、組み立てメモをもとに「レポート」を書きました。次の「組み立てメモ」をよく読んで、あとの問いに答えましょう。</p> <p>一 山中さんの「組み立てメモ」で「レポート」の<u>ア</u>に当てはまる言葉を書きましよう。</p> <p>二 山中さんは「レポート」の「3. 調べて分かったこと」の<u>イ</u>に、カブトムシの口の形について文を書きます。あなたが山中さんだったら、どのように書きますか。次の「じょうけん」に合わせて書きましよう。</p> <p>じょうけん<br/>○組み立てメモの「線部の内よう」を使って書くこと。<br/>○「レポート」の「カマキリ」は、の文の書き方と同じように書くこと。<br/>○三十字以上、五十字以内で書くこと。</p> |

- ・書こうとすることの中心を明確にして、目的に応じて書く。
- ・メモをもとに、文章を書く。
- ・目的に応じて、表現を工夫して簡単に書く。
- ・引用したり、図を用いたりして、情報を整理して書く。

[小3・3二 正答率 17.9%]

[小4・3二 正答率 19.6%]

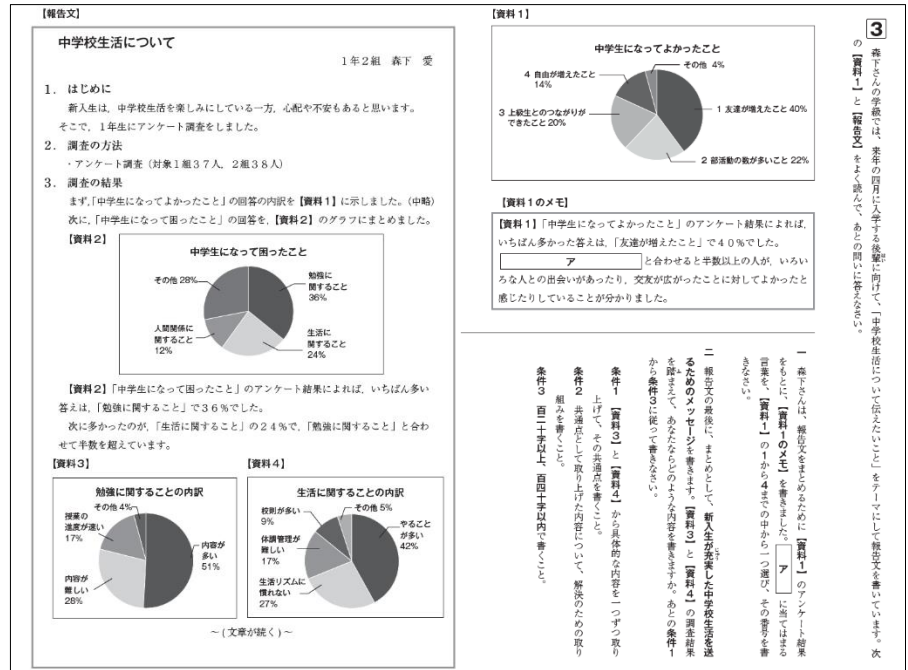
[小5・3二 正答率 24.1%]

[小6・3一 正答率 40.4%]

中学校では、集めた材料を分類・整理し文章を構成する力、伝えたいことを明らかにして書く力、事柄や意見が効果的に伝わるように、説明や具体例を加えて書く力に課題がある。

[中1・3二]

【解答例】勉強に関することでは「内容が多い」、生活に関することでは「やることが多い」が最も多い回答です。勉強でも生活でもやることが多いので、私はスケジュール表を作って確認するようにしています。みなさんも予定をしっかり立てて、じゅう実した中学校生活を送りましょう。(126字)



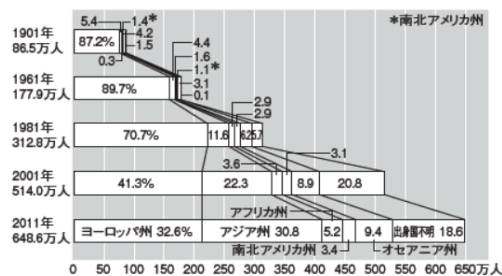
- ・集めた材料を基に伝えたいことを整理し、文章の構成を考えて書く。 [中1・3二 正答率 29.5%]
- ・伝えたい事実や事柄を明確にして書く。 [中2・3一 正答率 24.4%]
- ・考えや意見が効果的に伝わるように工夫して書く。 [中2・3二 正答率 39.1%]

○ 思考・判断した過程や結果を、他者に伝わるよう論理的に表現する力(社会)

[中2・1(3)]

(3) 次の【資料4】は、オーストラリアに暮らす移民の出身州別割合の移り変わりを示しています。オーストラリアは1970年代まで、移民に対し「白豪主義」という政策をとっていました。「白豪主義」によって実施されたことを、【資料4】を参考にして、「制限」の語を用いて、10字以上、20字以内で書きなさい。

【資料4】



- ・資料をもとに、白豪主義について説明することができる。 [中2・1(3) 正答率 37.7%]
- 【正答例】ヨーロッパ州以外の移民を制限すること。  
 (誤答の傾向として、ヨーロッパ系(白人)人種という趣旨の記述がなく、表現や記述が不十分である。)
- ・資料をもとに、住居を高床にしている理由を説明することができる。 [中1・3(3) 正答率 28.1%]
- (誤答の傾向として、指定された語句をつなげただけで、主語がない解答が多い。)



### Ⅲ. 教科に関する調査と生活・学習に関する意識調査のクロス分析結果

#### 1 指導方法と正答率の関係

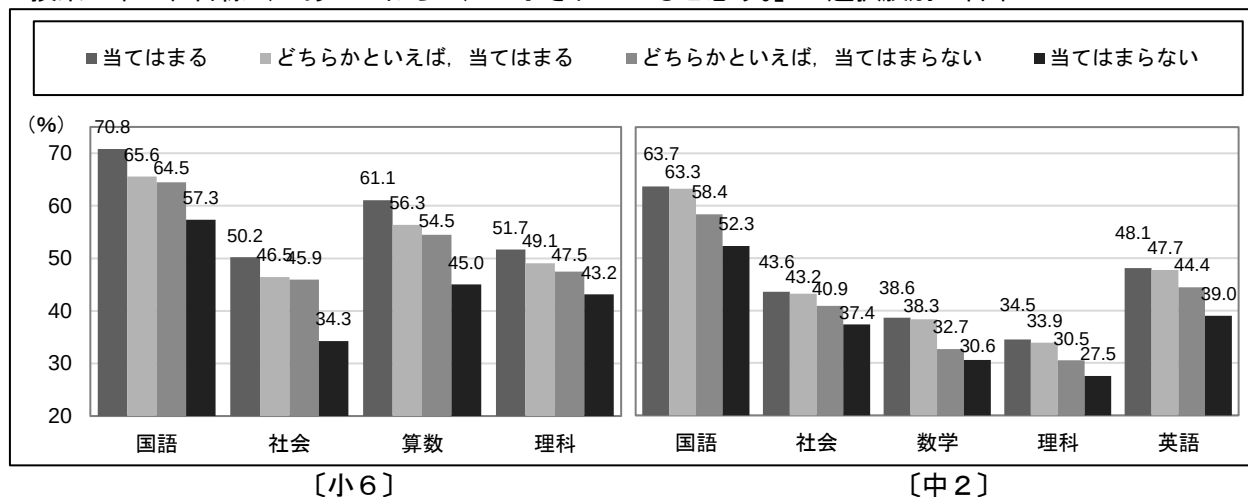
指導方法についての以下の項目に肯定的に回答した児童生徒の方が、教科の正答率が高い傾向がみられる。

○授業では、はじめに授業の目標（めあて・ねらい）が示されていると思う。

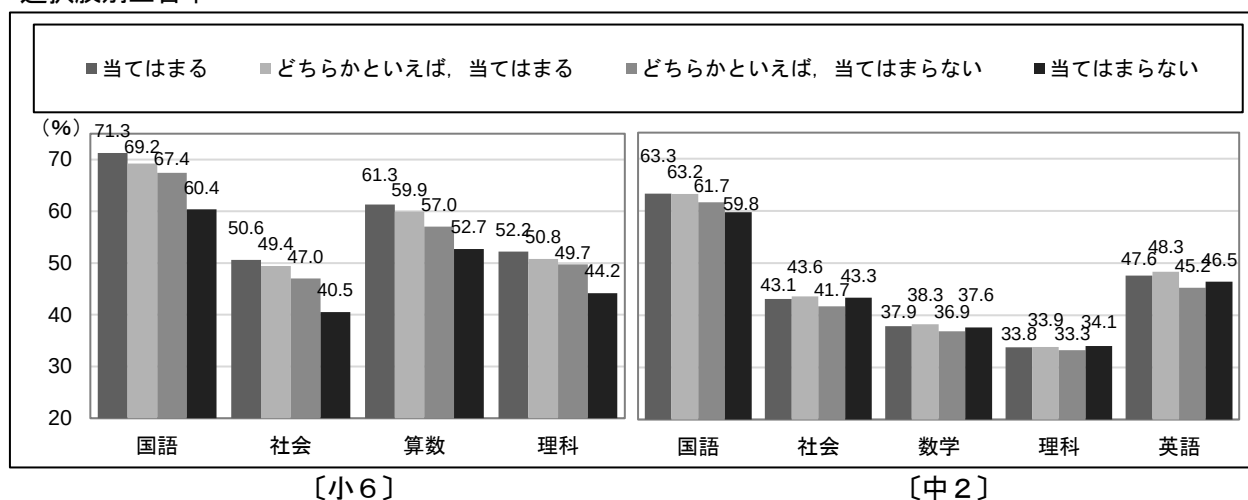
○授業で扱うノートには、学習の目標（めあて・ねらい）とまとめを書いていると思う。

○授業では、自分の考えを発表する機会を与えられていると思う。

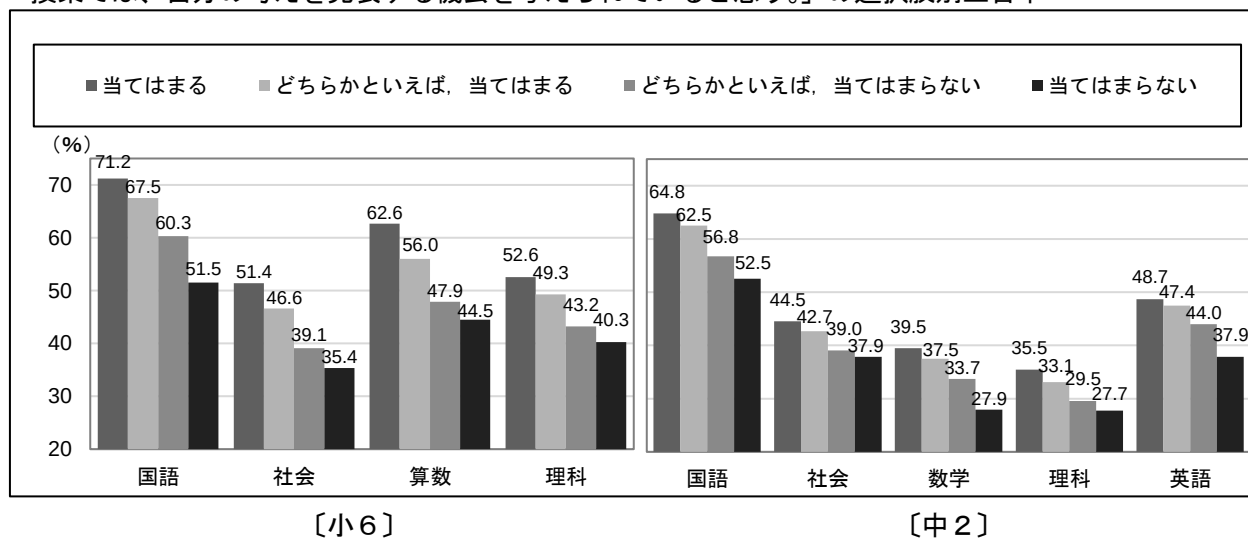
例)「授業の中で、目標（めあて・ねらい）が示されていると思う。」の選択肢別正答率



例)「授業であつかうノートには、学習の目標（めあて・ねらい）とまとめを書いていると思う。」の選択肢別正答率



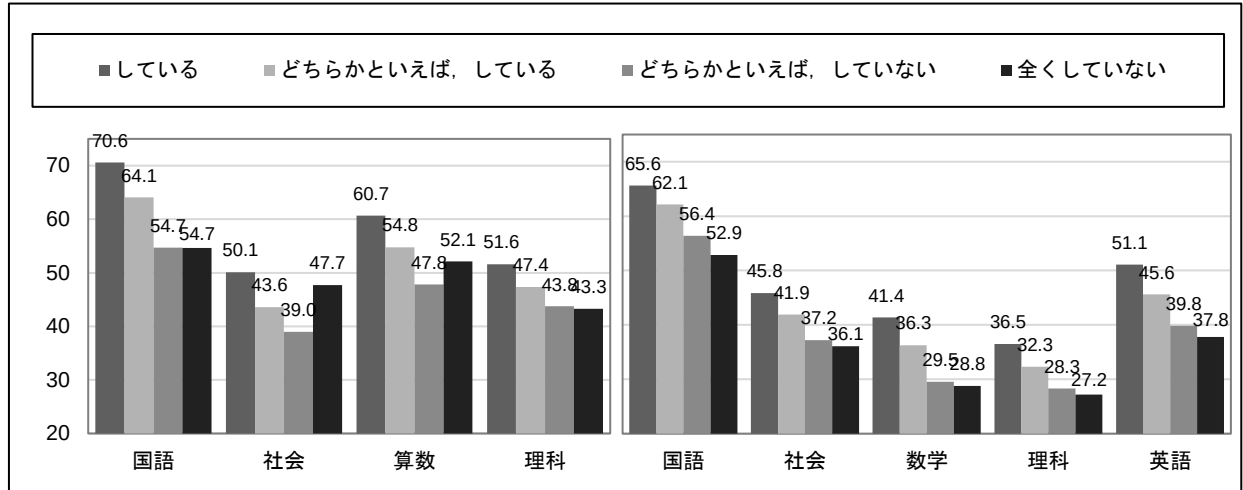
例)「授業では、自分の考えを発表する機会を与えられていると思う。」の選択肢別正答率



## 2 学習状況と正答率の関係

児童生徒の学習状況について、「学校の授業以外での学習」、「根拠を明らかにして筋道立てて考えたり表現したりすること」「読書に関する意識」についての項目に肯定的に回答した児童生徒の方が、教科の正答率が高い傾向がみられる。

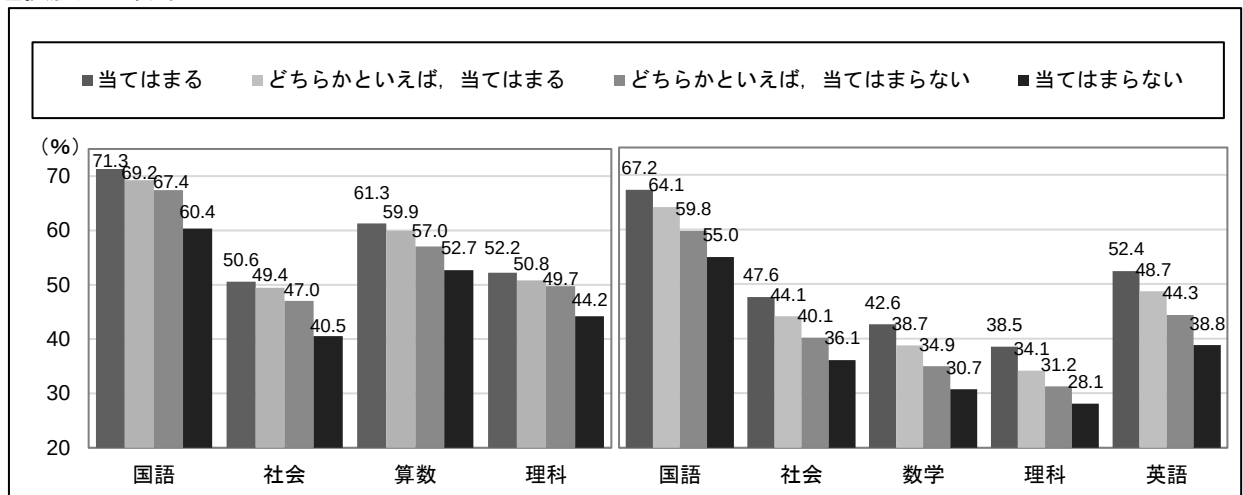
例)「家で、学校の宿題をしている。」の選択肢別正答率



〔小6〕

〔中2〕

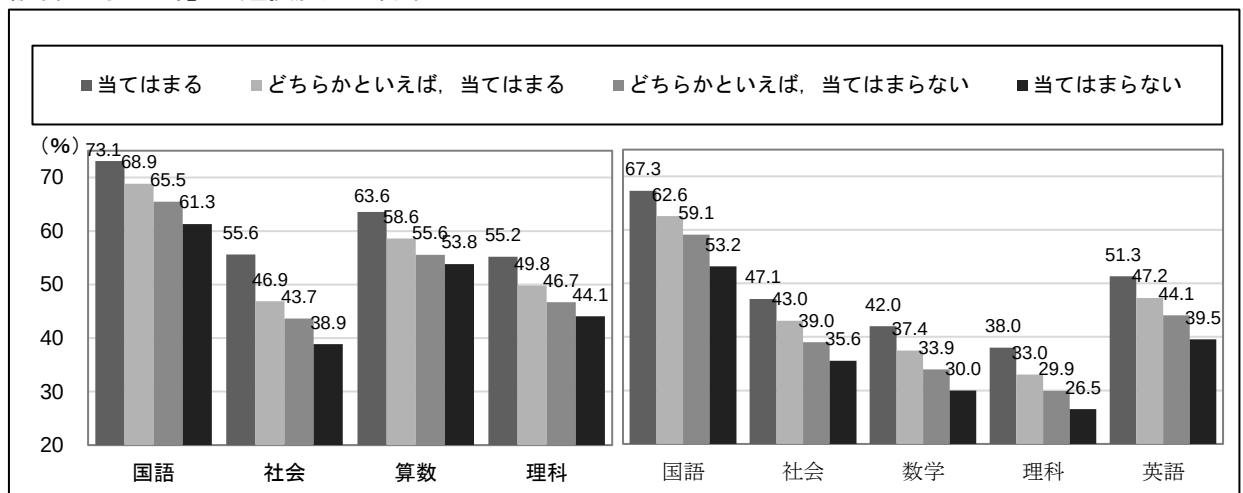
例)「国語の授業で自分の考えを書くとき、考えの理由が分かるように気をつけて書いている。」の選択肢別正答率



〔小6〕

〔中2〕

例)「読書は好きだ。」の選択肢別正答率



〔小6〕

〔中2〕

### 3 算数・数学への学習意欲と正答率の関係

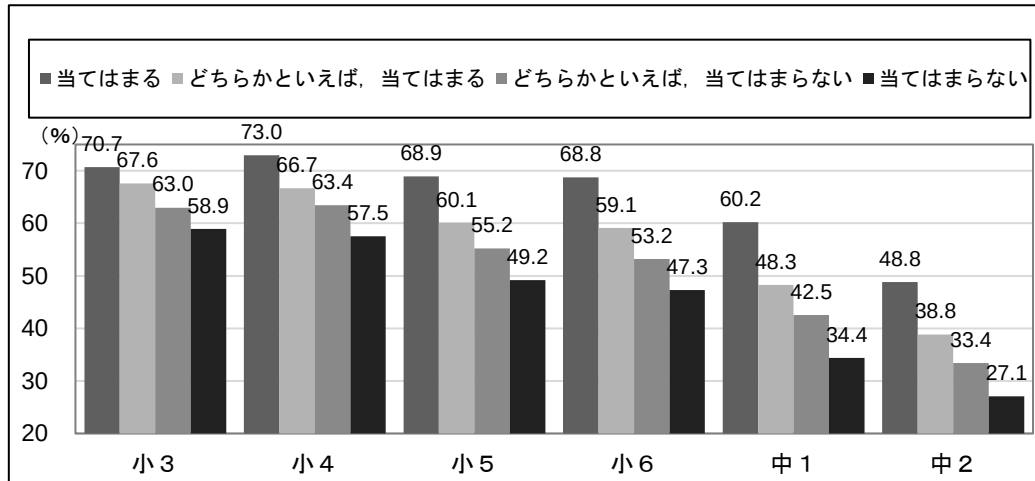
学習に対する関心・意欲・態度に関する項目に肯定的に回答した児童生徒の方が、教科の正答率が高い傾向がみられる。

○算数・数学の勉強は好きだ。

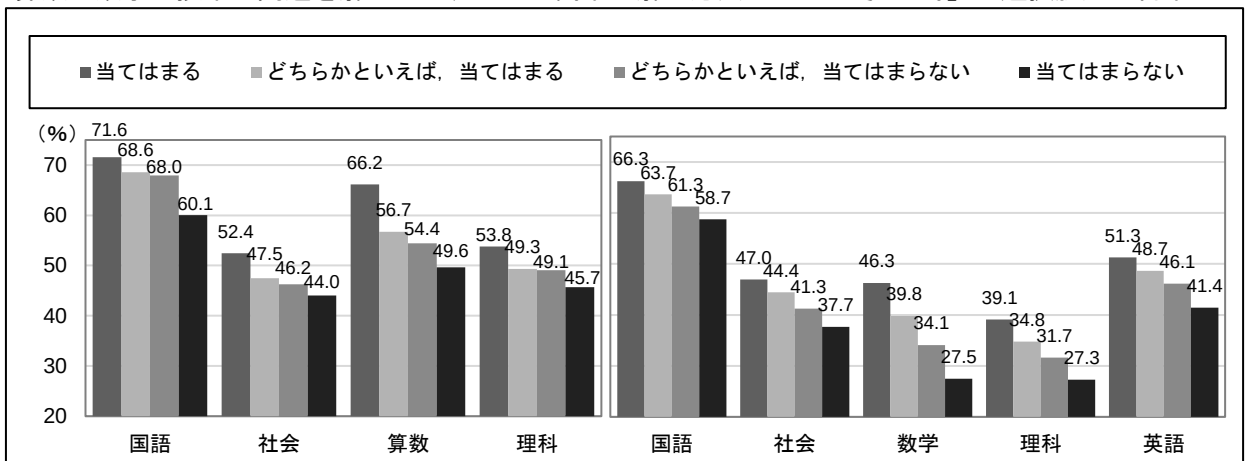
○算数・数学の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考える。

○算数・数学の問題の解き方がわからないときは、あきらめずにいろいろな方法を考える。

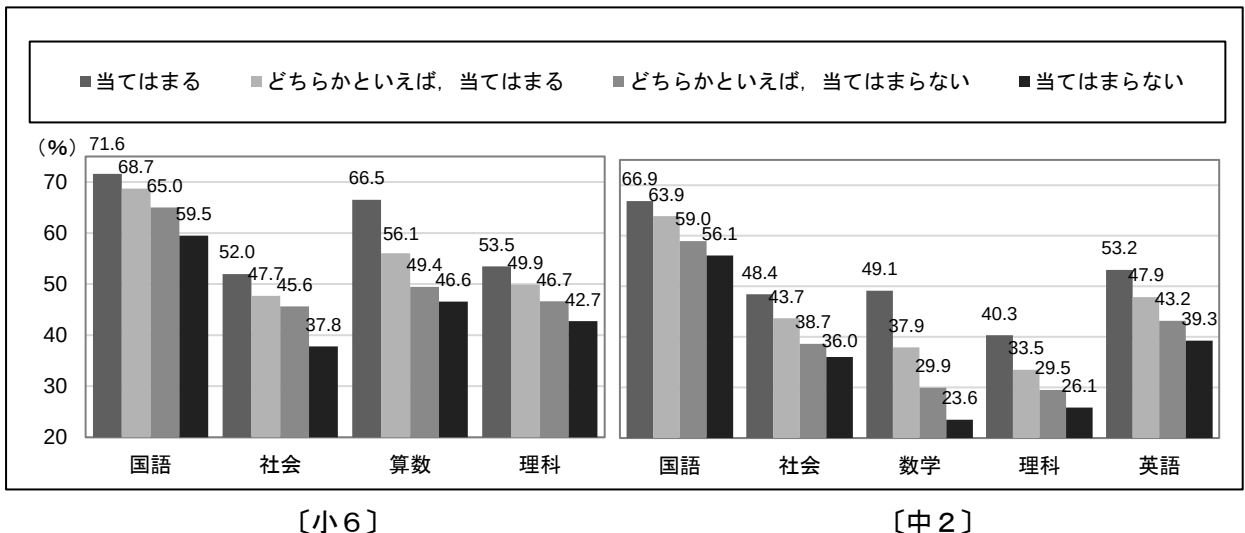
例)「算数・数学の勉強は好きだ。」の算数・数学の選択肢別正答率



例)「算数・数学の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考える。」の選択肢別正答率



例)「算数・数学の問題の解き方がわからないときは、あきらめずにいろいろな方法を考える。」の選択肢別正答率

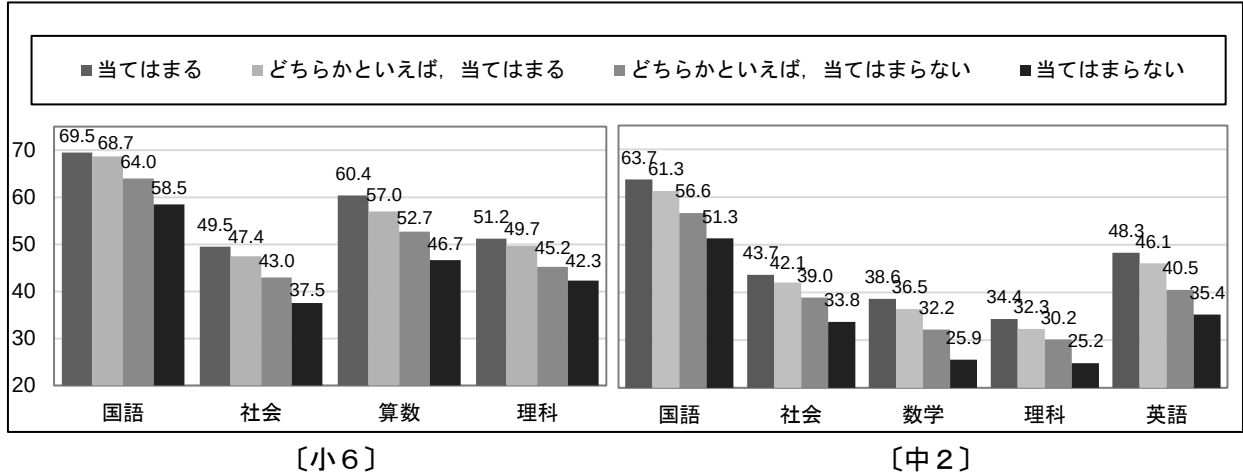


#### 4 自尊感情・自己有用感と正答率の関係

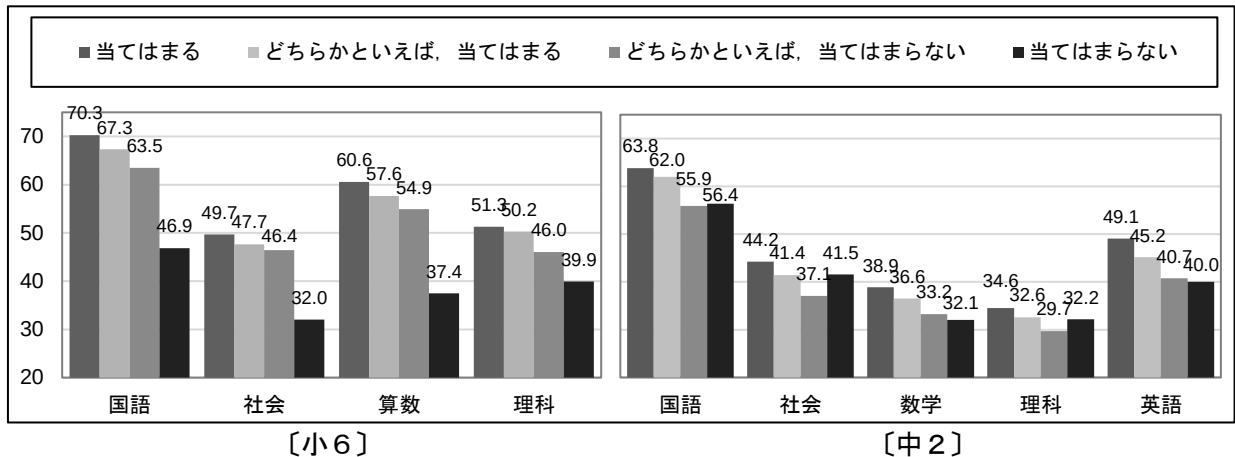
自尊感情・自己有用感に関する項目に肯定的に回答した児童生徒の方が、教科の正答率が高い傾向が見られる。特に児童においてその傾向が顕著である。

- ものごとを最後までやり遂げてうれしかったことがある。
- 人の役に立つ人間になりたいと思う。

例) 「ものごとを最後までやり遂げてうれしかったことがある。」の選択肢別正答率



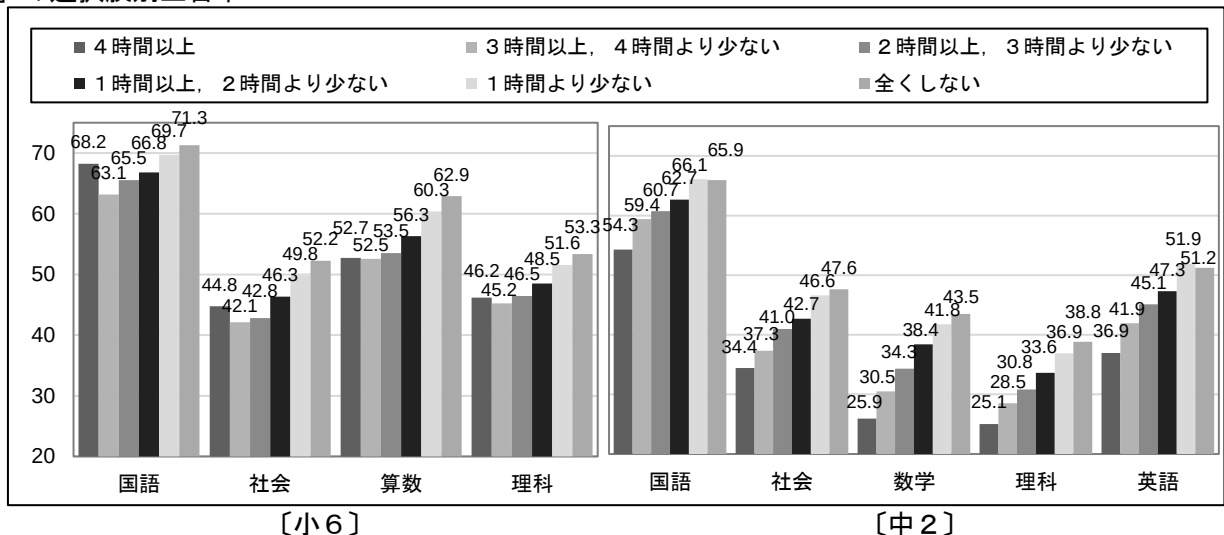
例) 「人の役に立つ人間になりたいと思う。」の選択肢別正答率



#### 5 メディア利用と正答率の関係

携帯電話やスマートフォンの使用時間が短い児童生徒の方が、教科の正答率が高い傾向が見られる。

「普段（月曜日から金曜日）、1日あたりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンを使っているか。」の選択肢別正答率



#### IV. 今後の対応（しまねの学力育成推進プランに基づく取組）

県教育委員会と市町村教育委員会が連携・協力し、全国学力・学習状況調査及び県学力調査結果分析に基づいた指導の改善を推進する。

**1 すべての小・中学校を対象とした結果説明会を実施し、結果を生かして各学校が組織的な授業改善や個別指導を進めるように働きかける。**

各学校の組織的な授業改善の取組や個別指導の充実をめざし、学力と学習状況の課題の改善状況、今後の取組についての共通理解を促すため、学力育成の中核を担っている教員を対象とした説明会を実施。

- ・ 学校等の分析シートを基に今年度の取組の検証と今後の方策の立案
- ・ 個々の結果を踏まえたフォローアッププリントを使った個別指導の充実
- ・ 改善がみられた事項と引き続き改善が必要な事項を確認、授業改善の焦点化

**2. 算数授業の改善方針に基づく取組を引き続き推進するとともに、小・中学校におけるすべての教科において新学習指導要領に基づき授業改善を進める。**

- ・ 算数授業の改善方針「子どもの声でつくる算数授業」に基づく取組を引き続き推進し、算数を切り口に授業の質の改善を進める。
- ・ 新学習指導要領に基づき、「主体的・対話的で深い学び」の視点による授業改善を進めるため、教育情報紙等による情報発信や新学習指導要領説明会を実施する。

**3. 課題に基づく今後の指導改善のポイントについて、平成30年度「各教科等の指導の重点」にまとめ、すべての小・中学校に配付し、徹底を図る。**

授業改善に向けた取組の視点や各教科等の指導改善のポイントを毎年発行している「各教科等の指導の重点」に記載し、訪問指導などで活用してその徹底を図る。

**4. 家庭と連携して、主体的な家庭学習の取組を引き出す指導の充実を図る。**

特に、中学生の家庭学習が充実するように、中学校への訪問指導などにより各校で授業と家庭学習が一体化するような効果的な家庭学習の在り方について指導し、改善を促す。